

パイロットの判断か

東大の松田康博教授 中国の政府や軍による計画的な威嚇行動なら、領空侵犯の直後に是非をひっくり返して日本を非難するはずだ。日本に圧力をかけるため、偶発的な事案でも、意図的に事後に利用する場合がある。今後中国の発信の見極めが必要だ。

航跡をみると意図的侵入と考えるのが自然だ。自衛隊機に監視されながら誤って領空侵犯するとは考えにくい。少なくともパイロット個人の判断であろう。中国軍機による不規則行動は日本以外に対しても頻発しており、懸念される。

これまでソ連やロシアは情報収集のついでに領空侵犯し、日本の反応などを無視していた。中国にも冷戦期のソ連と同様に日本を小国扱いしてもよいという雰囲気が出てきたのかもしれない。